



新年度のご挨拶



理事長 中澤 護朗

平成28年度のスタートにあたり一言ご挨拶申し上げます。

去る、1月25日に第167回理事会、2月10日に140回組合会を開催し、予算案を含む重要議案を承認可決していただきました。組合会議員そして理事の皆様には補助金の削減による財政の悪化を含む難しい案件でしたが、補助金削減の理由、支出の見直し等々の活発な質問と、貴重なご意見等、ご協力をいただいたことをお礼申し上げます。

さて、本年度も最優先事項は**治療より予防**です。

税理士国保組合の役割とはなんだろう？ むかし、私の頭のなかでは国保の役割とは被保険者の皆様が体調を崩し病院に行き治療費の30%を支払う、国保組合が70%を負担するという一方で、国保組合の運営を主体に考えていましたが、いまは、主体は被保険者であり、その主体たる被保険者の健康管理を念頭に置き運営することが国保組合の役割と思っています。予防という健康管理をしっかりと取入れた結果、万が一病気になり病院に掛かったとしても病状の軽いうちに対処することで、本人の負担はもとより療養給付費の大幅な削減にもつながると確信しています。

病院に行き、辛い思いをしたり、「自分は健康だから」という自己判断で行く必要がないと思い、つい足が遠のいた結果、症状が悪くなり1日で治るものが10日間かかったとか、重篤化して命にかかわるような大変な思いをしたという話を見聞きします。予防=健康管理においては、組合に加入している、していない、を問いません。当組合は税理士そしてその職員と家族で構成していますが、税理士会全体の問題として取り組みたいと考え、病院に行きづらい思いをする前にぜひ人間ドックや特定健診を受診し先手先手で心身の管理を心掛けていただければと念じます。そのためにも財政状況の非常に悪いなかですが、保健事業を今以上に充実し皆様の健康管理のお手伝いをさせていただく所存であり、無駄遣いとお叱りとともにご理解をいただければ幸いです。

しかし、保健事業の詳細を組合員の皆様が理解していないのが現状です。人間ドック、特定健診そして巡回健診、傷病手当金、保養所利用の補助金、インフルエンザ等の予防接種補助金など、健康管理のうえで有意義な補助制度を実施していますが、これを知らない人が多数見受けられるのが残念でなりません。特に職員そして家族の方に多く見受けられ、治療より予防を声高に言うまえに、その浸透を図る手段を支部国保長を中心に考慮したいと思っています。

その他の課題としては、組合組織の整備と機能の活性化を図る、税理士会及び同県連との連携を図る、それをふまえ規約規程等の整備、変更等を検討し一層強化し充実することが急務だと考えています。

組合運営に当たり非常に厳しいときです。皆様のご協力なしでは運営できません。ご指導、ご鞭撻をお願いして新年度の挨拶とします。